

研修ニュース

〒518-0814

三重県伊賀市上友生 785 番地

Tel&Fax 0595-21-8839 E-mail iga-ken@iga.ed.jp

今回は、B-7
「生徒指導④」
の報告です。



研修講座 生徒指導④

「事例をもとにした不登校児童生徒への対応」

【講師】 三重県不登校アドバイザー 木村 洋子先生

11月12日(火)、三重県不登校アドバイザーの木村洋子先生をお迎えし、研修講座「生徒指導④」を実施しました。木村先生は元中学校教員であり、スクールカウンセラーや教育支援センター職員、三重県不登校アドバイザーを歴任されました。講義は、木村先生がこれまで子どもや保護者と関わってきた経験に基づくものでした。

初めに、令和5年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」(三重県教育委員会作成；11月6日付けで学校教育課から送付済)から、不登校の現状等についてお話しいただきました。今後の対応として、わかりやすい授業づくりや教師の日々の励まし、いじめや暴力を許さない雰囲気づくり等、「魅力ある学校づくり」を引き続き進めること、学校生活や人間関係等のつまずきや失敗を、しなやかに受け止め適応し、立ち直り、回復する力を養う(レジリエンス教育)こと等が示されました。



また、木村先生がこれまで関わった不登校の事例を紹介いただきながら、子どもと保護者に関わっていくことで信頼関係を築き、どのように教育支援センターや関係機関とつないできたか、また、学校復帰につないできたかについてお話しいただきました。いくつかの事例を紹介いただく中で、子どもの興味関心があることを切り口として信頼関係を築いていくこと、子どもの状況に合わせて支援していくことが大切であると再認識できました。チーム学校として養護教諭や管理職などさまざまな立場から関わりを築くことが大切であること、その子が熱中できることを見つけ継続的に取り組ませる(時には教師も一緒にやってみる)ことで自信につながり、心のエネルギーが蓄えられやすいこと、不登校の支援者である先生自身のメンタルケアも大切なこと等、たくさんのことを学びました。本研修講座で学んだことを還流いただき、今後の取組に活かしていただきますようよろしくお願いいたします。

アンケートより【一部抜粋】

・ 今日の話聞かせていただいて、「児童本人はどうしたいのか」を抜きに方向性を決めていくことがマイナスに働いてしまうこと、家庭訪問にも適切なタイミングや回数があることなど、その児童や保護者に合った対応を、必要に応じて専門機関と連携し、丁寧に確実に進めていくことが大事だと感じました。(小)

・ 担任が保護者とだけ話をしていくのではなく、本人の意見も聞いていく必要があることを再確認できました。また、学校だけでとどめることなく、医療機関やSC、SSW等の専門家とのつながりも重要な事だと感じました。(中)